

海洋鉱物資源開発に係る

海洋環境調査

エネルギーや鉱物資源に乏しいわが国では、わが国周辺海域に存在する海洋鉱物資源の確保と安定的な供給が求められています。国内では経済産業省やJOGMECが中心となり、メタンハイドレートをはじめ、海底熱水鉱床、コバルト・リッチ・クラスト、マンガン団塊などの海洋鉱物資源開発に向けた探査や技術開発が進められています。一方で、開発にともなう深海生態系への影響が懸念されており、海洋鉱物資源開発に係る環境影響評価については、国際的に議論がなされています。

外洋調査のトップランナー

国際標準に準拠した調査技術

自社開発の海洋調査機器

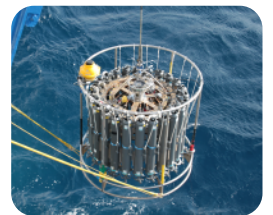


KANSOテクノスは、国が主導する海洋鉱物資源開発プロジェクトに参画し、深海底における環境影響評価に取り組んできました。これまでの取り組みによる成果は国内外で高く評価されており、今後も海洋鉱物資源開発に係る環境調査のトップランナーとして新たな技術課題の解決に貢献します。

Point
1

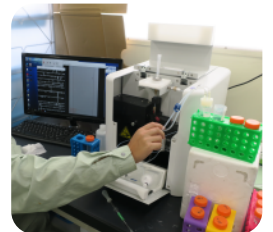
民間企業では類をみない外洋調査技術

当社は1990年代から外洋調査の国家プロジェクトに参画し、海洋調査技術を独自技術として培ってまいりました。これらの経験を活かした民間企業では類をみない外洋調査技術により、海洋調査の発展に貢献してきました。

Point
2

国際標準に準拠した調査技術

日本は環境に配慮した海洋鉱物資源開発を国際的にアピールし、環境影響評価技術の国際標準化を推進しています。当社は国際海底機構 (ISA) 等が推奨する調査手法を参照し、最新の調査技術により国際標準に対応した調査を実現化します。

Point
3

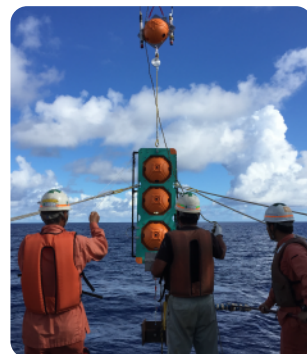
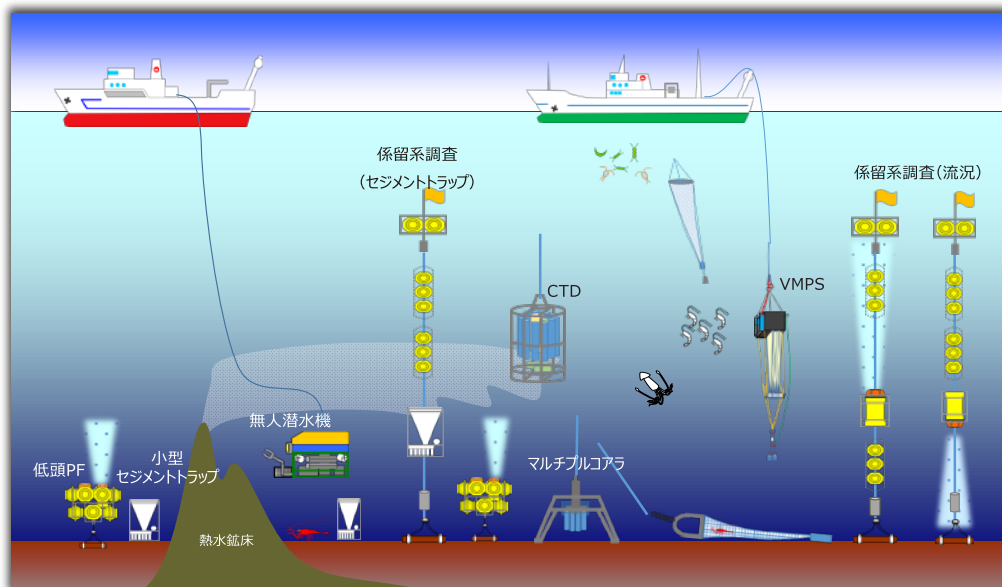
自社開発した豊富な海洋調査機器

当社は自社開発や市販機器の改良により、独自の海洋調査機器を開発してきました。開発にあたっては、国内外の研究機関や大学等の研究者からも指導・助言・協力をいただきました。

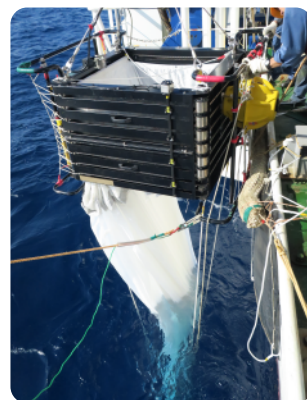


海洋鉱物資源開発に係る環境調査項目と自社開発調査機器

国が推進する海洋鉱物資源開発では、環境に配慮した開発を目指し海洋環境調査が行われています。海洋環境調査では、高精度な採水・採泥技術および化学分析技術、低頭型プラットフォーム等による海底近傍の流況観測、マルチタスク機能の深海カメラによる海底撮影、遺伝子解析による生態系調査など、当社の開発機器等が活躍しています。



江戸っ子1号



VMPS



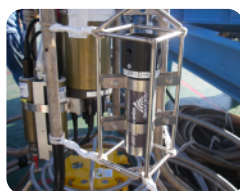
遺伝子解析



深海カメラ(開発機器)



マルチプルコア



水中録音機(開発機器)

KANSOテクノスが提供する海洋環境調査サービス

わたしたちKANSOテクノスは、海洋鉱物資源開発に係る海洋環境調査について、計画立案から調査船の選定と用船、海洋環境調査、環境影響評価まで、様々な形でサポートいたします。

調査の計画・立案

海洋環境調査

- 係留系による海水・流況・沈降粒子等調査
- 大気・海水・生物・底質サンプリング
- 船上および陸上での高精度分析と解析
- 生態系調査

環境影響評価

- 予測シミュレーション
- 環境影響評価書作成

調査船の選定と用船



【株式会社KANSOテクノス】

東京支店 〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町14番地
東信神田ビル4階

URL <http://www.kanso.co.jp/>



問い合わせ：東京支店 事業開発グループ

TEL 03-3526-3138

FAX 03-3255-7355 担当